



東北大学

平成23年7月11日

報道機関 各位

東北大学ニュートリノ科学研究センター

地球反ニュートリノ観測で判明、「地球形成時の熱は残存している！」
についての記者会見のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国立大学法人東北大学ニュートリノ科学研究センターは、液体シンチレータ反ニュートリノ観測装置カムランドでの長期観測により、地球内部の放射性物質起源反ニュートリノの測定精度を大幅に改善しました。これまでに蓄積した合計7年8ヶ月分のデータを解析し、この度大きな成果をあげました。表記の件につきまして、記者会見を開催して詳細をご説明させていただきたく存じます。ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：平成23年7月15日（金） 17:30～

会場：宮城県政記者クラブ

説明者：東北大学ニュートリノ科学研究センター センター長 教授 井上邦雄

（お問い合わせ先）
国立大学法人 東北大学 ニュートリノ科学研究センター
センター長 教授 井上邦雄
電話：022-795-6722
e-mail：inoue@awa.tohoku.ac.jp